【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年5月9日(2019.5.9)

【公開番号】特開2019-4963(P2019-4963A)
【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-002
【出願番号】特願2017-121016(P2017-121016)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｌ　9/00　(2006.01)
Ａ４７Ｌ　9/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｌ　9/00　１０５Ｂ
Ａ４７Ｌ　9/24　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月27日(2019.3.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電気掃除機本体を立てた状態で延長管を係合可能な電気掃除機であり、
前記電気掃除機本体は、前方に前記延長管を係合するための凹形状である被係合部と、当該被係合部の左右側に配置され、前記被係合部へと傾斜した傾斜壁と、を有し、
前記延長管は、前記被係合部へ係合するための係合部を有する、電気掃除機。
【請求項２】
前記電気掃除機本体の前面にハンドルが形成されており、前記ハンドルから前記傾斜壁には連続した傾斜面が形成されている、請求項１に記載の電気掃除機。
【請求項３】
前記電気掃除機本体の前面に、吸気口を有する吸気枠体が配され、前記吸気枠体に前記被係合部と前記傾斜壁を設けた、請求項１または２に記載の電気掃除機。
【請求項４】
前記傾斜壁を前記吸気枠体の外郭の略半周に設けた、請求項３に記載の電気掃除機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
前記従来の課題を解決するために、本発明の電気掃除機は、電気掃除機本体を立てた状態で延長管を係合可能な電気掃除機であり、前記電気掃除機本体は、前方に前記延長管を係合するための凹形状である被係合部と、当該被係合部の左右側に配置され、前記被係合部へと傾斜した傾斜壁と、を有し、前記延長管は、前記被係合部へ係合するための係合部を有するものであり、使用者が延長管又は吸込具の略Ｌ型の係合部を、前記吸気口の下方に設けられた被係合部を正確に狙わずとも、被係合部の入口に設けた傾斜壁に係合部を沿わせて手を離すだけで、前記傾斜状の壁に沿って係合部が移動して前記吸気口下方の凹状の被係合部と嵌合させることができる